

小学校学習指導要領における各教科等の内容〔抜粋〕 (新旧対照表)

小 学 校		
	新学習指導要領	現行学習指導要領
国 語		
第1学年 及び 第2学年	<p>A 話すこと・聞くこと</p> <p>(1) 話すこと・聞くことに関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。</p> <p>ア 身近なことや経験したことなどから話題を決め、伝え合うために必要な事柄を選ぶこと。</p> <p>イ 相手に伝わるように、行動したことや経験したことに基いて、話す事柄の順序を考えること。</p> <p>ウ 伝えたい事柄や相手に応じて、声の大きさや速さなどを工夫すること。</p> <p>エ 話し手が知らせたいことや自分が聞きたいことを落とさないように集中して聞き、話の内容を捉えて感想をもつこと。</p> <p>オ 互いの話に関心をもち、相手の発言を受けて話をつなぐこと。</p>	<p>A 話すこと・聞くこと</p> <p>(1) 話すこと・聞くこと的能力を育てるため、次の事項について指導する。</p> <p>ア 身近なことや経験したことなどから話題を決め、必要な事柄を思い出すこと。</p> <p>イ 相手に応じて、話す事柄を順序立て、丁寧な言葉と普通の言葉との違いに気を付けて話すこと。</p> <p>ウ 姿勢や口形、声の大きさや速さなどに注意して、はっきりした発音で話すこと。</p> <p>エ 大事なことを落とさないようにしながら、興味をもって聞くこと。</p> <p>オ 互いの話を集中して聞き、話題に沿って話し合うこと。</p>
第3学年 及び 第4学年	<p>A 話すこと・聞くこと</p> <p>(1) 話すこと・聞くことに関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。</p> <p>ア 目的を意識して、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を比較したり分類したりして、伝え合うために必要な事柄を選ぶこと。</p> <p>イ 相手に伝わるように、理由や事例などを挙げながら、話の中心が明確になるよう話の構成を考えること。</p> <p>ウ 話の中心や話す場面を意識して、言葉の抑揚や強弱、間の取り方などを工夫すること。</p> <p>エ 必要なことを記録したり質問したりしながら聞き、話し手が伝えたいことや自分が聞きたいことの中心を捉え、自分の考えをもつこと。</p> <p>オ 目的や進め方を確認し、司会などの役割を果たしながら話し合い、互いの意見の共通点や相違点に着目して、考えをまとめること。</p>	<p>A 話すこと・聞くこと</p> <p>(1) 話すこと・聞くこと的能力を育てるため、次の事項について指導する。</p> <p>ア 関心のあることなどから話題を決め、必要な事柄について調べ、要点をメモすること。</p> <p>イ 相手や目的に応じて、理由や事例などを挙げながら筋道を立て、丁寧な言葉を用いるなど適切な言葉遣いで話すこと。</p> <p>ウ 相手を見たり、言葉の抑揚や強弱、間の取り方などに注意したりして話すこと。</p> <p>エ 話の中心に気を付けて聞き、質問をしたり感想を述べたりすること。</p> <p>オ 互いの考えの共通点や相違点を考え、司会や提案などの役割を果たしながら、進行に沿って話し合うこと。</p>
第5学年 及び 第6学年	<p>A 話すこと・聞くこと</p> <p>(1) 話すこと・聞くことに関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。</p> <p>ア 目的や意図に応じて、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を分類したり関係付けたりして、</p>	<p>A 話すこと・聞くこと</p> <p>(1) 話すこと・聞くこと的能力を育てるため、次の事項について指導する。</p> <p>ア 考えたことや伝えたいことなどから話題を決め、収集した知識や情報を関係付けること。</p>

	<p>伝え合う内容を検討すること。</p> <p>イ 話の内容が明確になるように、事実と感想、意見とを区別するなど、話の構成を考えること。</p> <p>ウ 資料を活用するなどして、自分の考えが伝わるように表現を工夫すること。</p> <p>エ 話し手の目的や自分が聞こうとする意図に応じて、話の内容を捉え、話し手の考えと比較しながら、自分の考えをまとめること。</p> <p>オ 互いの立場や意図を明確にしながらいかに話し合い、考えを広げたりまとめたりすること。</p>	<p>イ 目的や意図に応じて、事柄が明確に伝わるように話の構成を工夫しながら、場に応じた適切な言葉遣いで話すこと。</p> <p>ウ 共通語と方言との違いを理解し、また、必要に応じて共通語で話すこと。</p> <p>エ 話し手の意図をとらえながら聞き、自分の意見と比べるなどして考えをまとめること。</p> <p>オ 互いの立場や意図をはっきりさせながら、計画的に話し合うこと。</p>
社 会		
第3学年	<p>(1) 身近な地域や市区町村（以下第2章第2節において「市」という。）の様子について、学習の問題を追究・解決する活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。</p> <p>ア 次のような知識及び技能を身に付けること。</p> <p>(ア) 身近な地域や自分たちの市の様子を大まかに理解すること。</p> <p>(イ) 観察・調査したり地図などの資料で調べたりして、白地図などにまとめること。</p> <p>イ 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。</p> <p>(ア) 都道府県内における市の位置、市の地形や土地利用、交通の広がり、市役所など主な公共施設の場所と働き、古くから残る建造物の分布などに着目して、身近な地域や市の様子を捉え、場所による違いを考え、表現すること。</p>	<p>(1) 自分たちの住んでいる身近な地域や市（区、町、村）について、次のことを観察、調査したり白地図にまとめたりして調べ、地域の様子は場所によって違いがあることを考えるようにする。</p> <p>ア 身近な地域や市（区、町、村）の特色ある地形、土地利用の様子、主な公共施設などの場所と働き、交通の様子、古くから残る建造物など</p>
第4学年		
第5学年	<p>(1) 我が国の国土の様子と国民生活について、学習の問題を追究・解決する活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。</p> <p>ア 次のような知識及び技能を身に付けること。</p> <p>(ア) 世界における我が国の国土の位置、国土の構成、領土の範囲などを大まかに理解すること。</p> <p>(イ) 我が国の国土の地形や気候の概要を理解するとともに、人々は自然環境に適応して生活していることを理解すること。</p> <p>(ウ) 地図帳や地球儀、各種の資料で調べ、まとめること。</p> <p>イ 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。</p> <p>(ア) 世界の大陸と主な海洋、主な国の位置、海洋に囲まれ多数の島からなる国土の構成などに着目して、我が国の国土の様子を捉え、その特色を考え、表現すること。</p> <p>(イ) 地形や気候などに着目して、国土の自然などの様子や自然条件から見て特色ある地域の人々の</p>	<p>(1) 我が国の国土の自然などの様子について、次のことを地図や地球儀、資料などを活用して調べ、国土の環境が人々の生活や産業と密接な関連をもっていることを考えるようにする。</p> <p>ア 世界の主な大陸と海洋、主な国の名称と位置、我が国の位置と領土</p> <p>イ 国土の地形や気候の概要、自然条件から見て特色ある地域の人々の生活</p> <p>ウ 公害から国民の健康や生活環境を守ることの大切さ</p> <p>エ 国土の保全などのための森林資源の働き及び自然災害の防止</p>

	生活を捉え、国土の自然環境の特色やそれらと国民生活との関連を考え、表現すること。	
第6学年	<p>(1) 我が国の政治の働きについて、学習の問題を追究・解決する活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。</p> <p>ア 次のような知識及び技能を身に付けること。</p> <p>(ア) 日本国憲法は国家の理想、天皇の地位、国民としての権利及び義務など国家や国民生活の基本を定めていることや、現在の我が国の民主政治は日本国憲法の基本的な考え方に基づいていることを理解するとともに、立法、行政、司法の三権がそれぞれの役割を果たしていることを理解すること。</p> <p>(イ) 国や地方公共団体の政治は、国民主権の考え方の下、国民生活の安定と向上を図る大切な働きをしていることを理解すること。</p> <p>(ウ) 見学・調査したり各種の資料で調べたりして、まとめること。</p> <p>イ 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。</p> <p>(ア) 日本国憲法の基本的な考え方に着目して、我が国の民主政治を捉え、日本国憲法が国民生活に果たす役割や、国会、内閣、裁判所と国民との関わりを考え、表現すること。</p> <p>(イ) 政策の内容や計画から実施までの過程、法令や予算との関わりなどに着目して、国や地方公共団体の政治の取組を捉え、国民生活における政治の働きを考え、表現すること。</p>	<p>(2) 我が国の政治の働きについて、次のことを調査したり資料を活用したりして調べ、国民主権と関連付けて政治は国民生活の安定と向上を図るために大切な働きをしていること、現在の我が国の民主政治は日本国憲法の基本的な考え方に基づいていることを考えるようにする。</p> <p>ア 国民生活には地方公共団体や国の政治の働きが反映していること。</p> <p>イ 日本国憲法は、国家の理想、天皇の地位、国民としての権利及び義務など国家や国民生活の基本を定めていること。</p>
算 数		
第1学年	<p>C 測定</p> <p>(1) 身の回りのものの大きさに関わる数学的活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。</p> <p>ア 次のような知識及び技能を身に付けること。</p> <p>(ア) 長さ、広さ、かさなどの量を、具体的な操作によって直接比べたり、他のものを用いて比べたりすること。</p> <p>(イ) 身の回りにあるものの大きさを単位として、その幾つ分かで大きさを比べること。</p> <p>イ 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。</p> <p>(ア) 身の回りのものの特徴に着目し、量の大きさの比べ方を見いだすこと。</p> <p>(2) 時刻に関わる数学的活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。</p> <p>ア 次のような知識及び技能を身に付けること。</p> <p>(ア) 日常生活の中で時刻を読むこと。</p>	<p>B 量と測定</p> <p>(1) 大きさを比較するなどの活動を通して、量とその測定についての理解の基礎となる経験を豊かにする。</p> <p>ア 長さ、面積、体積を直接比べること。</p> <p>イ 身の回りにあるものの大きさを単位として、その幾つ分かで大きさを比べること。</p> <p>(2) 日常生活の中で時刻を読むことができるようにする。</p>

	<p>イ 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。</p> <p>(ア) 時刻の読み方を用いて、時刻と日常生活を関連付けること。</p>	
第2学年	<p>B 図形</p> <p>(1) 図形に関わる数学的活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。</p> <p>ア 次のような知識及び技能を身に付けること。</p> <p>(ア) 三角形、四角形について知ること。</p> <p>(イ) 正方形、長方形、直角三角形について知ること。</p> <p>(ウ) 正方形や長方形の面で構成される箱の形をしたものについて理解し、それらを構成したり分解したりすること。</p> <p>イ 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。</p> <p>(ア) 図形を構成する要素に着目し、構成の仕方を考えるときともに、身の回りのものの形を図形として捉えること。</p>	<p>C 図形</p> <p>(1) ものの形についての観察や構成などの活動を通して、図形を構成する要素に着目し、図形について理解できるようにする。</p> <p>ア 三角形、四角形について知ること。</p> <p>イ 正方形、長方形、直角三角形について知ること。</p> <p>ウ 箱の形をしたものについて知ること。</p>
第3学年	<p>B 図形</p> <p>(1) 図形に関わる数学的活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。</p> <p>ア 次のような知識及び技能を身に付けること。</p> <p>(ア) 二等辺三角形、正三角形などについて知り、作図などを通してそれらの関係に次第に着目すること。</p> <p>(イ) 基本的な図形と関連して角について知ること。</p> <p>(ウ) 円について、中心、半径、直径を知ること。</p> <p>また、円に関連して、球についても直径などを知ること。</p> <p>イ 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。</p> <p>(ア) 図形を構成する要素に着目し、構成の仕方考えるときともに、図形の性質を見だし、身の回りのものの形を図形として捉えること。</p>	<p>C 図形</p> <p>(1) 図形についての観察や構成などの活動を通して、図形を構成する要素に着目し、図形について理解できるようにする。</p> <p>ア 二等辺三角形、正三角形について知ること。</p> <p>イ 角について知ること。</p> <p>ウ 円、球について知ること。また、それらの中心、半径、直径について知ること。</p>
第4学年	<p>C 変化と関係</p> <p>(1) 伴って変わる二つの数量に関わる数学的活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。</p> <p>ア 次のような知識及び技能を身に付けること。</p> <p>(ア) 変化の様子を表や式、折れ線グラフを用いて表したり、変化の特徴を読み取ったりすること。</p> <p>イ 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。</p> <p>(ア) 伴って変わる二つの数量を見だして、それらの関係に着目し、表や式を用いて変化や対応の特徴を考察すること。</p> <p>(2) 二つの数量の関係に関わる数学的活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。</p>	<p>D 数量関係</p> <p>(1) 伴って変わる二つの数量の関係を表したり調べたりすることができるようにする。</p> <p>ア 変化の様子を折れ線グラフを用いて表したり、変化の特徴を読み取ったりすること。</p> <p>(2) 数量の関係を表す式について理解し、式を用いることができるようにする。</p> <p>ア 四則の混合した式や()を用いた式について理解し、正しく計算すること。</p> <p>イ 公式についての考え方を理解し、公式を用いること。</p> <p>ウ 数量を四角、三角などを用いて表し、その関係を式に表したり、四角、三角などに数を当てはめて調べたりすること。</p>

	<p>ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 (ア) 簡単な場合について、ある二つの数量の関係と別の二つの数量の関係を比べる場合に割合を用いる場合があることを知ること。</p> <p>イ 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。 (ア) 日常の事象における数量の関係に着目し、図や式などを用いて、ある二つの数量の関係と別の二つの数量の関係との比べ方を考察すること。</p>	<p>(3) 四則に関して成り立つ性質についての理解を深める。 ア 交換法則、結合法則、分配法則についてまとめること。</p> <p>(4) 目的に応じて資料を集めて分類整理し、表やグラフを用いて分かりやすく表したり、特徴を調べたりすることができるようにする。 ア 資料を二つの観点から分類整理して特徴を調べること。 イ 折れ線グラフの読み方やかき方について知ること。</p>
第5学年	<p>A 数と計算</p> <p>(1) 整数の性質及び整数の構成に関わる数学的活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 (ア) 整数は、観点を決めると偶数と奇数に類別されることを知ること。 (イ) 約数、倍数について知ること。 イ 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。 (ア) 乗法及び除法に着目し、観点を決めて整数を類別する仕方を考えたり、数の構成について考察したりするとともに、日常生活に生かすこと。</p>	<p>A 数と計算</p> <p>(1) 整数の性質についての理解を深める。 ア 整数は、観点を決めると偶数、奇数に類別されることを知ること。 イ 約数、倍数について知ること。</p>
第6学年	<p>B 図形</p> <p>(1) 平面図形に関わる数学的活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 (ア) 縮図や拡大図について理解すること。 (イ) 対称な図形について理解すること。 イ 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。 (ア) 図形を構成する要素及び図形間の関係に着目し、構成の仕方を考察したり図形の性質を見いだしたりするとともに、その性質を基に既習の図形を捉え直したり日常生活に生かしたりすること。</p> <p>(2) 身の回りにある形の概形やおよその面積などに関わる数学的活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 (ア) 身の回りにある形について、その概形を捉え、およその面積などを求めること。 イ 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。 (ア) 図形を構成する要素や性質に着目し、筋道を立てて面積などの求め方を考え、それを日常生活に生かすこと。</p> <p>(3) 平面図形の面積に関わる数学的活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。</p>	<p>C 図形</p> <p>(1) 図形についての観察や構成などの活動を通して、平面図形についての理解を深める。 ア 縮図や拡大図について理解すること。 イ 対称な図形について理解すること。</p>

	<p>ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 (ア) 円の面積の計算による求め方について理解すること。</p> <p>イ 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。 (ア) 図形を構成する要素などに着目し、基本的な図形の面積の求め方を見いだすとともに、その表現を振り返り、簡潔かつ的確な表現に高め、公式として導くこと。</p> <p>(4) 立体図形の体積に関わる数学的活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 (ア) 基本的な角柱及び円柱の体積の計算による求め方について理解すること。 イ 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。 (ア) 図形を構成する要素に着目し、基本図形の体積の求め方を見いだすとともに、その表現を振り返り、簡潔かつ的確な表現に高め、公式として導くこと。</p>	
理 科		
第3学年	<p>A 物質・エネルギー (1) 物と重さ 物の性質について、形や体積に着目して、重さを比較しながら調べる活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 次のことを理解するとともに、観察、実験などに関する技能を身に付けること。 (ア) 物は、形が変わっても重さは変わらないこと。 (イ) 物は、体積が同じでも重さは違うことがあること。 イ 物の形や体積と重さとの関係について追究する中で、差異点や共通点を基に、物の性質についての問題を見だし、表現すること。</p>	<p>A 物質・エネルギー (1) 物と重さ 粘土などを使い、物の重さや体積を調べ、物の性質についての考えをもつことができるようにする。 ア 物は、形が変わっても重さは変わらないこと。 イ 物は、体積が同じでも重さは違うことがあること。</p>
第4学年	<p>B 生命・地球 (2) 季節と生物 身近な動物や植物について、探したり育てたりする中で、動物の活動や植物の成長と季節の変化に着目して、それらに関係付けて調べる活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 次のことを理解するとともに、観察、実験などに関する技能を身に付けること。 (ア) 動物の活動は、暖かい季節、寒い季節などによって違いがあること。 (イ) 植物の成長は、暖かい季節、寒い季節などによって違いがあること。</p>	<p>B 生命・地球 (2) 季節と生物 身近な動物や植物を探したり育てたりして、季節ごとの動物の活動や植物の成長を調べ、それらの活動や成長と環境とのかかわりについての考えをもつことができるようにする。 ア 動物の活動は、暖かい季節、寒い季節などによって違いがあること。 イ 植物の成長は、暖かい季節、寒い季節などによって違いがあること。</p>

	イ 身近な動物や植物について追究する中で、既習の内容や生活経験を基に、季節ごとの動物の活動や植物の成長の変化について、根拠のある予想や仮説を発想し、表現すること。	
第5学年	A 物質・エネルギー (1) 物の溶け方 物の溶け方について、溶ける量や様子に着目して、水の温度や量などの条件を制御しながら調べる活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 次のことを理解するとともに、観察、実験などに関する技能を身に付けること。 (ア) 物が水に溶けても、水と物とを合わせた重さは変わらないこと。 (イ) 物が水に溶ける量には、限度があること。 (ウ) 物が水に溶ける量は水の温度や量、溶ける物によって違うこと。また、この性質を利用して、溶けている物を取り出すことができること。 イ 物の溶け方について追究する中で、物の溶け方の規則性についての予想や仮説を基に、解決の方法を発想し、表現すること。	A 物質・エネルギー (1) 物の溶け方 物を水に溶かし、水の温度や量による溶け方の違いを調べ、物の溶け方の規則性についての考えをもつことができるようにする。 ア 物が水に溶ける量には限度があること。 イ 物が水に溶ける量は水の温度や量、溶ける物によって違うこと。また、この性質を利用して、溶けている物を取り出すことができること。 ウ 物が水に溶けても、水と物とを合わせた重さは変わらないこと。
第6学年	A 物質・エネルギー (1) 燃焼の仕組み 燃焼の仕組みについて、空気の変化に着目して、物の燃え方を多面的に調べる活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 次のことを理解するとともに、観察、実験などに関する技能を身に付けること。 (ア) 植物体が燃えるときには、空気中の酸素が使われて二酸化炭素ができること。 イ 燃焼の仕組みについて追究する中で、物が燃えたときの空気の変化について、より妥当な考えをつくりだし、表現すること。	A 物質・エネルギー (1) 燃焼の仕組み 物を燃やし、物や空気の変化を調べ、燃焼の仕組みについての考えをもつことができるようにする。 ア 植物体が燃えるときには、空気中の酸素が使われて二酸化炭素ができること
生活		
第1学年 及び 第2学年	(1) 学校生活に関わる活動を通して、学校の施設の様子や学校生活を支えている人々や友達、通学路の様子やその安全を守っている人々などについて考えることができ、学校での生活は様々な人や施設と関わっていることが分かり、楽しく安心して遊びや生活をしたり、安全な登下校をしたりしようとする。	(1) 学校の施設の様子及び先生など学校生活を支えている人々や友達のことが分かり、楽しく安心して遊びや生活ができるようにするとともに、通学路の様子やその安全を守っている人々などに関心をもち、安全な登下校ができるようにする。
音楽		
第1学年 及び 第2学年	A 表現 (1) 歌唱の活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 歌唱表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、曲想を感じ取って表現を工夫し、どのように歌うかについて思いをもつこと。	A 表現 (1) 歌唱の活動を通して、次の事項を指導する。 ア 範唱を聴いて歌ったり、階名で模唱したり暗唱したりすること。 イ 歌詞の表す情景や気持ちを想像したり、楽曲の気分を感じ取ったりし、思いをもって歌うこと。

	<p>イ 曲想と音楽の構造との関わり、曲想と歌詞の表す情景や気持ちとの関わりについて気付くこと。</p> <p>ウ 思いに合った表現をするために必要な次の(ア)から(ウ)までの技能を身に付けること。</p> <p>(ア) 範唱を聴いて歌ったり、階名で模唱したり暗唱したりする技能</p> <p>(イ) 自分の歌声及び発音に気を付けて歌う技能</p> <p>(ウ) 互いの歌声や伴奏を聴いて、声を合わせて歌う技能</p> <p>〔共通事項〕</p> <p>(1) 「A表現」及び「B鑑賞」の指導を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。</p> <p>ア 音楽を形づくっている要素を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考えること。</p> <p>イ 音楽を形づくっている要素及びそれらに関わる身近な音符、休符、記号や用語について、音楽における働きと関わらせて理解すること。</p>	<p>ウ 自分の歌声及び発音に気を付けて歌うこと。</p> <p>エ 互いの歌声や伴奏を聴いて、声を合わせて歌うこと。</p> <p>〔共通事項〕</p> <p>(1) 「A表現」及び「B鑑賞」の指導を通して、次の事項を指導する。</p> <p>ア 音楽を形づくっている要素のうち次の(ア)及び(イ)を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取ること。</p> <p>(ア) 音色、リズム、速度、旋律、強弱、拍の流れやフレーズなどの音楽を特徴付けている要素</p> <p>(イ) 反復、問いと答えなどの音楽の仕組み</p> <p>イ 身近な音符、休符、記号や音楽にかかわる用語について、音楽活動を通して理解すること。</p>
図画工作		
<p>第1学年 及び 第2学年</p>	<p>〔共通事項〕</p> <p>(1) 「A表現」及び「B鑑賞」の指導を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。</p> <p>ア 自分の感覚や行為を通して、形や色などに気付くこと。</p> <p>イ 形や色などを基に、自分のイメージをもつこと。</p>	<p>〔共通事項〕</p> <p>(1) 「A表現」及び「B鑑賞」の指導を通して、次の事項を指導する。</p> <p>ア 自分の感覚や活動を通して、形や色などをとらえること。</p> <p>イ 形や色などを基に、自分のイメージをもつこと。</p>
家庭		
<p>第5学年 及び 第6学年</p>	<p>C 消費生活・環境</p> <p>次の(1)及び(2)の項目について、課題をもって、持続可能な社会の構築に向けて身近な消費生活と環境を考え、工夫する活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。</p> <p>(1) 物や金銭の使い方と買物</p> <p>ア 次のような知識及び技能を身に付けること。</p> <p>(ア) 買物の仕組みや消費者の役割が分かり、物や金銭の大切さと計画的な使い方について理解すること。</p> <p>(イ) 身近な物の選び方、買い方を理解し、購入するために必要な情報の収集・整理が適切にできること。</p> <p>イ 購入に必要な情報を活用し、身近な物の選び方、買い方を考え、工夫すること。</p> <p>(2) 環境に配慮した生活</p> <p>ア 自分の生活と身近な環境との関わりや環境に配慮した物の使い方などについて理解すること。</p> <p>イ 環境に配慮した生活について物の使い方などを考え、工夫すること。</p>	<p>D 身近な消費生活と環境</p> <p>(1) 物や金銭の使い方と買物について、次の事項を指導する。</p> <p>ア 物や金銭の大切さに気付き、計画的な使い方を考えること。</p> <p>イ 身近な物の選び方、買い方を考え、適切に購入できること。</p> <p>(2) 環境に配慮した生活の工夫について、次の事項を指導する。</p> <p>ア 自分の生活と身近な環境とのかかわりに気付き、物の使い方などを工夫できること。</p>

体 育

<p>第1学年 及び 第2学年</p>	<p>C 走・跳の運動遊び 走・跳の運動遊びについて、次の事項を身に付けることができるよう指導する。</p> <p>(1) 次の運動遊びの楽しさに触れ、その行い方を知るとともに、その動きを身に付けること。 ア 走の運動遊びでは、いろいろな方向に走ったり、低い障害物を走り越えたりすること。 イ 跳の運動遊びでは、前方や上方に跳んだり、連続して跳んだりすること。</p> <p>(2) 走ったり跳んだりする簡単な遊び方を工夫するとともに、考えたことを友達に伝えること。</p> <p>(3) 運動遊びに進んで取り組み、順番やきまりを守り誰とでも仲よく運動をしたり、勝敗を受け入れたり、場の安全に気を付けたりすること。</p>	<p>C 走・跳の運動遊び</p> <p>(1) 次の運動を楽しく行い、その動きができるようにする。 ア 走の運動遊びでは、いろいろな方向に走ったり、低い障害物を走り越えたりすること。 イ 跳の運動遊びでは、前方や上方に跳んだり、連続して跳んだりすること。</p> <p>(2) 運動に進んで取り組み、きまりを守り仲よく運動をしたり、勝敗を受け入れたり、場の安全に気を付けたりすることができるようにする。</p> <p>(3) 走ったり跳んだりする簡単な遊び方を工夫できるようにする。</p>
<p>第3学年 及び 第4学年</p>	<p>G 保 健</p> <p>(1) 健康な生活について、課題を見付け、その解決を目指した活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 健康な生活について理解すること。 (ア) 心や体の調子がよいなどの健康の状態は、主体の要因や周囲の環境の要因が関わっていること。 (イ) 毎日を健康に過ごすには、運動、食事、休養及び睡眠の調和のとれた生活を続けること、また、体の清潔を保つことなどが必要であること。 (ウ) 毎日を健康に過ごすには、明るさの調節、換気などの生活環境を整えることなどが必要であること。 イ 健康な生活について課題を見付け、その解決に向けて考え、それを表現すること。</p>	<p>G 保 健</p> <p>(1) 健康の大切さを認識するとともに、健康によい生活について理解できるようにする。 ア 心や体の調子がよいなどの健康の状態は、主体の要因や周囲の環境の要因がかかわっていること。 イ 毎日を健康に過ごすには、食事、運動、休養及び睡眠の調和のとれた生活を続けること、また、体の清潔を保つことなどが必要であること。 ウ 毎日を健康に過ごすには、明るさの調節、換気などの生活環境を整えることなどが必要であること。</p>
<p>第5学年 及び 第6学年</p>	<p>D 水泳運動 水泳運動について、次の事項を身に付けることができるよう指導する。</p> <p>(1) 次の運動の楽しさや喜びを味わい、その行い方を理解するとともに、その技能を身に付けること。 ア クロールでは、手や足の動きに呼吸を合わせて続けて長く泳ぐこと。 イ 平泳ぎでは、手や足の動きに呼吸を合わせて続けて長く泳ぐこと。 ウ 安全確保につながる運動では、背浮きや浮き沈みをしながら続けて長く浮くこと。</p> <p>(2) 自己の能力に適した課題の解決の仕方や記録への挑戦の仕方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えること。</p> <p>(3) 運動に積極的に取り組み、約束を守り助け合って運動をしたり、仲間の考えや取組を認めたり、水泳運動の心得を守って安全に気を配ったりすること。</p>	<p>D 水 泳</p> <p>(1) 次の運動の楽しさや喜びに触れ、その技能を身に付けることができるようにする。 ア クロールでは、続けて長く泳ぐこと。 イ 平泳ぎでは、続けて長く泳ぐこと。</p> <p>(2) 運動に進んで取り組み、助け合って水泳をしたり、水泳の心得を守って安全に気を配ったりすることができるようにする。</p> <p>(3) 自己の能力に適した課題の解決の仕方や記録への挑戦の仕方を工夫できるようにする。</p>

特別の教科 道徳	
<p>B 主として人との関わりに関すること</p> <p>〔親切、思いやり〕</p> <p>〔第1学年及び第2学年〕 身近にいる人に温かい心で接し、親切にすること。</p> <p>〔第3学年及び第4学年〕 相手のことを思いやり、進んで親切にすること。</p> <p>〔第5学年及び第6学年〕 誰に対しても思いやりの心を持ち、相手の立場に立って親切にすること。</p> <p>〔感謝〕</p> <p>〔第1学年及び第2学年〕 家族など日頃世話になっている人々に感謝すること。</p> <p>〔第3学年及び第4学年〕 家族など生活を支えてくれている人々や現在の生活を築いてくれた高齢者に、尊敬と感謝の気持ちをもって接すること。</p> <p>〔第5学年及び第6学年〕 日々の生活が家族や過去からの多くの人々の支え合いや助け合いで成り立っていることに感謝し、それに応えること。</p> <p>〔礼儀〕</p> <p>〔第1学年及び第2学年〕 気持ちのよい挨拶、言葉遣い、動作などに心掛けて、明るく接すること。</p> <p>〔第3学年及び第4学年〕 礼儀の大切さを知り、誰に対しても真心をもって接すること。</p> <p>〔第5学年及び第6学年〕 時と場をわきまえて、礼儀正しく真心をもって接すること。</p> <p>〔友情、信頼〕</p> <p>〔第1学年及び第2学年〕 友達と仲よくし、助け合うこと。</p> <p>〔第3学年及び第4学年〕 友達と互いに理解し、信頼し、助け合うこと。</p> <p>〔第5学年及び第6学年〕 友達と互いに信頼し、学び合って友情を深め、異性についても理解しながら、人間関係を築いていくこと。</p> <p>〔相互理解、寛容〕</p> <p>〔第3学年及び第4学年〕 自分の考えや意見を相手に伝えるとともに、相手のことを理解し、自分と異なる意見も大切にすること。</p> <p>〔第5学年及び第6学年〕 自分の考えや意見を相手に伝えるとともに、謙虚な心を持ち、広い心で自分と異なる意見や立場を尊重すること。</p>	<p>〔第1学年及び第2学年〕</p> <p>2 主として他の人とのかわりに関すること。</p> <p>(1) 気持ちのよいあいさつ、言葉遣い、動作などに心掛けて、明るく接する。</p> <p>(2) 幼いや高齢者など身近にいる人に温かい心で接し、親切にする。</p> <p>(3) 友達と仲よくし、助け合う。</p> <p>(4) 日ごろ世話になっている人々に感謝する。</p> <p>〔第3学年及び第4学年〕</p> <p>2 主として他の人とのかわりに関すること。</p> <p>(1) 礼儀の大切さを知り、だれに対しても真心をもって接する。</p> <p>(2) 相手のことを思いやり、進んで親切にする。</p> <p>(3) 友達と互いに理解し、信頼し、助け合う。</p> <p>(4) 生活を支えている人々や高齢者に、尊敬と感謝の気持ちをもって接する。</p> <p>〔第5学年及び第6学年〕</p> <p>2 主として他の人とのかわりに関すること。</p> <p>(1) 時と場をわきまえて、礼儀正しく真心をもって接する。</p> <p>(2) だれに対しても思いやりの心を持ち、相手の立場に立って親切にする。</p> <p>(3) 互いに信頼し、学び合って友情を深め、男女仲よく協力し助け合う。</p> <p>(4) 謙虚な心を持ち、広い心で自分と異なる意見や立場を大切にすること。</p> <p>(5) 日々の生活が人々の支え合いや助け合いで成り立っていることに感謝し、それにこたえる。</p>

総合的な学習の時間

- | | |
|---|---|
| <p>(1) 各学校において定める目標については、各学校における教育目標を踏まえ、総合的な学習の時間を通して育成を目指す資質・能力を示すこと。</p> <p>(2) 各学校において定める目標及び内容については、他教科等の目標及び内容との違いに留意しつつ、他教科等で育成を目指す資質・能力との関連を重視すること。</p> <p>(3) 各学校において定める目標及び内容については、日常生活や社会との関わりを重視すること。</p> <p>(4) 各学校において定める内容については、目標を実現するにふさわしい探究課題、探究課題の解決を通して育成を目指す具体的な資質・能力を示すこと。</p> | <p>(3) 第2の各学校において定める目標及び内容については、日常生活や社会とのかかわりを重視すること。</p> |
|---|---|

特別活動

- | | |
|---|--|
| <p>学級活動</p> <p>1の資質・能力を育成するため、全ての学年において、次の各活動を通して、それぞれの活動の意義及び活動を行う上で必要となることについて理解し、主体的に考えて実践できるよう指導する。</p> <p>(1) 学級や学校における生活づくりへの参画</p> <p>ア 学級や学校における生活上の諸問題の解決
学級や学校における生活をよりよくするための課題を見だし、解決するために話し合い、合意形成を図り、実践すること。</p> <p>イ 学級内の組織づくりや役割の自覚
学級生活の充実や向上のため、児童が主体的に組織をつくり、役割を自覚しながら仕事を分担して、協力し合い実践すること。</p> <p>ウ 学校における多様な集団の生活の向上
児童会など学級の枠を超えた多様な集団における活動や学校行事を通して学校生活の向上を図るため、学級としての提案や取組を話し合って決めること。</p> <p>(2) 日常生活や学習への適応と自己の成長及び健康安全</p> <p>ア 基本的な生活習慣の形成
身の回りの整理や挨拶などの基本的な生活習慣を身に付け、節度ある生活にすること。</p> <p>イ よりよい人間関係の形成
学級や学校の生活において互いのよさを見付け、違いを尊重し合い、仲よくしたり信頼し合ったりして生活すること。</p> <p>ウ 心身ともに健康で安全な生活態度の形成
現在及び生涯にわたって心身の健康を保持増進することや、事件や事故、災害等から身を守り安全に行動すること。</p> <p>エ 食育の観点から踏まえた学校給食と望ましい食習慣の形成
給食の時間を中心としながら、健康によい食事</p> | <p>〔共通事項〕</p> <p>(1) 学級や学校の生活づくり</p> <p>ア 学級や学校における生活上の諸問題の解決</p> <p>イ 学級内の組織づくりや仕事の分担処理</p> <p>ウ 学校における多様な集団の生活の向上</p> <p>(2) 日常生活や学習への適応及び健康安全</p> <p>ア 希望や目標をもって生きる態度の形成</p> <p>イ 基本的な生活習慣の形成</p> <p>ウ 望ましい人間関係の形成</p> <p>エ 清掃などの当番活動等の役割と働くことの意義の理解</p> <p>オ 学校図書館の利用</p> <p>カ 心身ともに健康で安全な生活態度の形成</p> <p>キ 食育の観点から踏まえた学校給食と望ましい食習慣の形成</p> |
|---|--|

<p>のとり方など、望ましい食習慣の形成を図るとともに、食事を通して人間関係をよりよくすること。</p> <p>(3) 一人一人のキャリア形成と自己実現</p> <p>ア 現在や将来に希望や目標をもって生きる意欲や態度の形成</p> <p>学級や学校での生活づくりに主体的に関わり、自己を生かそうとするとともに、希望や目標をもち、その実現に向けて日常生活をよりよくしようとする事。</p> <p>イ 社会参画意識の醸成や働くことの意義の理解</p> <p>清掃などの当番活動や係活動等の自己の役割を自覚して協働することの意義を理解し、社会の一員として役割を果たすために必要となることについて主体的に考えて行動すること。</p> <p>ウ 主体的な学習態度の形成と学校図書館等の活用</p> <p>学ぶことの意義や現在及び将来の学習と自己実現とのつながりを考えたり、自主的に学習する場としての学校図書館等を活用したりしながら、学習の見通しを立て、振り返ること。</p>	
---	--